整備がすすむ

北近畿豊岡自動車道

国土交通省豊岡河川国道事務所では、「北近畿豊岡自動車道」を整備しています。

北近畿豊岡自動車道とは

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点とし、丹波市春日町に至る全長約70キロメートルの自動車専用道路です。

但馬地域と丹波地域とを直結し、さらには春日ジャンクションで舞鶴若狭自動車道と、和田山ジャンクションで播但連絡道路と連結することで京阪神地域や播磨地域との結び付きを強めます。

事業の進捗状況

現在、朝来市和田山町市御堂（いちみどう）の和田山ジャンクションまでは整備され、そこから養父市八鹿町高柳までの「和田山八鹿道路」を、平成23年度の供用を目指して工事中です。

また、豊岡市内を通過する「八鹿日高道路（養父市八鹿町～豊岡市日高町久斗）」・「日高豊岡南道路（日高町久斗～上佐野）」では、平成21年度までに、用地測量や建物調査を終え、平成22年度からは、用地交渉と用地取得に着手しています。

今後は、取得した用地内で、必要に応じて埋蔵文化財の調査を実施します。その上で、関係者に工事説明を行い、工事に着手していくことになります。

なお、「豊岡道路」は調査中です。

計画説明
事業の内容について関係者への説明を行います。

現地測量
計画説明後、関係者の了解を得て、現地で道路設計のための測量、地質調査を行います。

予備設計
路線測量、地質調査結果に基づき実測図による道路の設計を行います。

設計協議
横断する道路や水路などの構造、設計の内容について関係者への説明・協議を行います。

幅杭打設（はばくいだせつ）
設計協議完了後、現地に道路予定幅を打設します。

用地測量・建物調査
用地測量を行い、面積を算出し、家屋等のある場合は建物の調査を行います。

用地交渉・取得
用地交渉を行い、成立後調印・契約を行います。
用地取得にあたっては、土地建物を補償します。

道路詳細設計
設計協議事項などに基づき設計を行います。

文化財調査

工事説明
工事に際して工事内容の説明を行います。

工事着手
用地取得・工事説明完了後、工事に着手します。

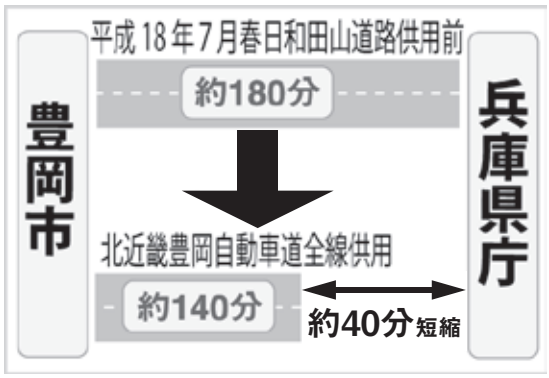
完成・供用

北近畿豊岡自動車道の整備による効果

北近畿豊岡自動車道の整備で、豊岡市をはじめとした但馬地域では、次のような効果が考えられます。

◆地域活性化◆

北近畿豊岡自動車道の全線開通後は、広域交通ネットワークが大幅に広がります。例えば、豊岡‐神戸間の移動時間は、以前に比べて約40分間短縮され、道路交通の利便性が向上します。このことで、観光客の増加や企業立地の促進など、地域間の大交流が期待されます。

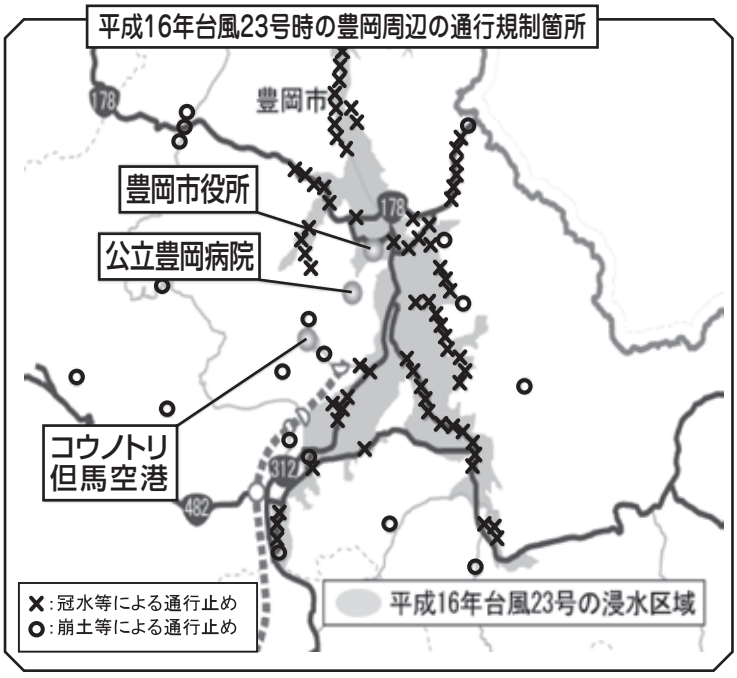


◆緊急医療機関への搬送時間短縮◆

緊急医療では、搬送時間の短縮は非常に重要となります。北近畿豊岡自動車道と鳥取豊岡宮津自動車道が開通すれば、但馬地域各地から地域医療の中心である公立豊岡病院への搬送時間が大幅に短縮されます。また昨年12月5日に導入されたドクターカーと併せると、但馬地域の大部分の範囲で、通報から30分以内に初期治療が可能となり、安心の範囲が拡大します。

◆災害時の代替路の確保◆

平成16年の台風23号時には、豊岡周辺では冠水や土砂崩れにより、多くの箇所で通行止めなどの通行規制が行われました。北近畿豊岡自動車道は、災害時の代替路として機能し、地域間の移動や災害支援をサポートします。



◆現道状況の改善◆

豊岡市内には、生活交通や長距離の移動交通が集中しており、朝夕や観光シーズンの渋滞や、交通事故の発生の一因となっています。北近畿豊岡自動車道を整備することで道路の役割を分担し、市内中心部の渋滞緩和や交通事故の減少が期待されます。

豊岡市内でも、北近畿豊岡自動車道の整備が本格的に始まります。

北近畿豊岡自動車道の早期開通に向け理解と協力をお願いします。

《問合せ》国土交通省豊岡河川国道事務所調査第二課
☎22－3126
http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/
豊岡市都市整備部建設課
☎23－1115
※所要時間・30分圏域は、豊岡河川国道事務所調べ